

2006年8月17日
MR/J31/06



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

「平和構築を担う人材とは」 外務省・国連大学共催セミナー

内容 : アジアにおける平和構築分野の人材育成に関するセミナー
日時 : 2006年8月29日(火) (午前10:30~午後5:30) (受付: 午前9:30)
場所 : ウ・タント国際会議場 (UNハウス、渋谷区)
共催 : 外務省(MOFA)、国際連合大学(UNU)

概要:

- 紛争がますます多様化、複雑化する中で、今、世界各地で様々な形態の平和活動が幅広く展開されている。
- 国連は今年、平和構築委員会を設立し、2006年6月23日に開かれた初会合の席上、コフィー・アナン国連事務総長は「紛争の犠牲となった国や社会の再構築の支援こそ、国連が果たすべき責任分野であることを誰もが認識している」と述べた。
- 国連の平和活動の有効性をより一層強化するためには、さまざまな地域での活動で得られた経験をもとに、実践的な取り組みを進める必要がある。また、人材の育成が欠かせない。
- 麻生外務大臣は2006年5月に開かれた「国際交流会議『アジアの未来』2006」で行ったスピーチで、平和構築のために活躍できる人材を育成する仕組みをアジアに作る必要性を強調している。
- 国連大学では「平和とガバナンス・プログラム」の中で平和構築の研究に力を注いでいるが、最近の研究では、平和構築を脅かす複雑な問題が具体的に解明されるようになり、注目されている。

セミナーについて:

- 本セミナーには、平和構築分野について知見を有する国内外の実務家や有識者が参加し、平和構築を担う人材をアジアでいかに育成するかについて具体的な提案を話し合う他、アジア内外での協力体制のあり方についても意見を交わすことになっている。
- 午前の部では、麻生外務大臣の講演に引き続き、下記、講演者による講演を予定。
ラクダール・ブラヒミ 元国連事務総長特別顧問、マラック・グールディング オクスフォード大学セント・アントニーズ・カレッジ学長(元国連平和維持活動局長、国連事務次長)、サティッシュ・ナンビヤール インド統合戦略研究所長(元国連保護隊(UNPROFOR)司令官)
- 午後は2つのセッションを予定: 「平和構築のための人材育成の事例」、「アジアにおける平和構築分野の人材育成の課題」。各セッションの後に質疑応答あり。

取材をご希望される方は、お席のご用意をさせていただきます。8月28日(月)までに、下記担当者までお知らせください。

国連大学広報部、担当: 谷野(やの) (電話: 03-5467-1311; メール: media@unu.edu)

尚、取材する際には、カメラ記者の方は「自社腕章」を、ペン記者の方は「国会バッジ・国会記者証」または「自社腕章」を着用してください。また、身分を確認させて頂く場合がありますので、顔写真付きの身分証明書を携行願います。

MEDIA ADVISORY